

文化庁令和 3 年度

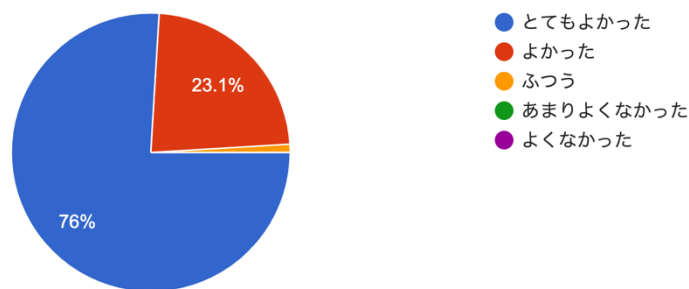
「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育実践プログラム（C）：
地域日本語教室の対話的な日本語活動につなぐための基礎日本語教育実践研究事業
（CINGA）

報告会アンケート結果

2月23日現在 回答数 104 * 以下、個人に関わるコメント等は外しました

1. 報告会第 1 部はいかがでしたか。

104 件の回答



1-2. 1.の回答について、どのような点についてそう思われたか教えてください。

- 実践事例（動画）があったので
- 具体的な学習の様子を動画で見れたことがよかった。
- 具体例がよかった
- 具体的な活動紹介があったことで、お話が腑に落ちました。
- 実践の内容が、理論、実際の様子など多面的に示されていてよくわかった。
- 参加者がどのように参加し、成果がみられているかがわかった。
- イメージが沸いた。今後の市の活動の参考にしたいと思います。
- みなさんの大変なご努力の成果を拝見できたためです。CINGA 会員として何かお手伝いできれば、と思っております。本日はありがとうございました。
- 自己表現のための学習という発想がとても良いと思った。
- 具体的な内容に加えて、動画があったので、非常にわかりやすかったです。
- 学習の実践の様子がよくわかった。
- 最前線で行われている努力、工夫がよくわかった。
- 外国人参加者の皆さんが自発的に発話し、相手に興味を持ちコミュニケーションをしている姿に魅入りました。教師がいないグループルームで会話が続けるのだろうか、と思いました。がそれぞれが発言しているのを見て、「話したい」という気持ちが芽生えたからこそだろう

なあと思いました。

- 自己表現活動の意義や方法、実践模様など具体的にわかったこと。
- つながりながらつながる 漠然としたイメージだったことが、この言葉を聞いて、明確になった
- 育児中の学習者に対し、自治体や地域の支援者がベビーシッターなどを手配して、学習できる体制をしていることに感心した。
- 地域日本語教育の実践例を具体的に知ることができました。また、「表現活動中心の日本語教育」は、自分が実際に目指したいものであると感じました。もっと勉強し、今後の活動に取り入れていきたいと思います。
- 実践報告から多くの気づきがありました。
- 西口先生のお話も大変勉強になりました。また、実践報告も自分自身の活動の場と重なる点もあり、参考になりました。特に、子育て期の学習者の学習機会を逃さないために託児を留意する点などは、とても大切なことだと改めて思いました。
- ボランティアクラスで文型などを教えることに片寄ったり、適当におしゃべりすることになってしまったりすることが多いのをどのようにしたらいいかと考えていたので。
- 教材、事例、実践結果などが具体的でわかりやすかったです。特に動画は興味深く拝見しました。成果が如実に現れていて参考になりました。
- 日本語教師ではありませんが、基礎日本語を教える日本語講座と、交流型の地域日本語教室運営に関わっており、多文化共生のための日本語教室としてそれぞれがどのような役割でどのように連動すればよいのかが分かり、非常に参考になりました。
- ①生活者としての外国人と生活者としての日本人が対話をして行くための、基礎の日本語教育における日本語教師の役割が明確になった。
- ②地域日本語教室は、それぞれの外国人の状況を把握し、個別の問題に対応することが必要なことがある、しかしそれが可能なのが地域教育だと感じた。
- ③対面であれ、オンラインであれ、人とつながって学習することが価値がある。ムードメーカーであるとか、明るいとか、静かだとか、まじめだとか外国人それぞれの個性が出てきて「和気あいあい」なおしゃべりができることが目標なのだとわかった。
- マスターテキストアプローチを使用した基礎日本語教育の実践活動、及び学習者の言語活動の変遷を映像で見ることにより、その効果のほどを実感することができた。
- 西口先生のお話が聞けたこと。
- 学習者同士で学習内容を発展させていく過程を地域の日本語教室の参考としたいと思ったため。
- 西口先生の言葉で「基礎日本語教育」と「自己表現活動」についてお話を聞くことができたこと
- CINGA コース、ひたちなかコースの実践を見せていただき、理解が深まり、今の活動を考えるうえで大変参考になりました
- 実践報告が詳細でわかりやすかった。また、西口先生のお話から、今回の事業の理論的な背景もよくわかった。
- 実践の理念から活動計画、受講者の感想などがとても分かりやすく説明されていて、大変勉強になりました。

- 事業内容とその理念、実践に関わる方々の熱意がよくわかりました。
- モデル文を言ってもらってから自分のことを言えるようになるという勉強方法です。
- 実践の詳細や実際の教室の映像を見ることができたので、大変参考になりました。
- 教室活動の実際と事業内容の両方が拝見できバランスがよかったと思いました。
- 西口先生の話も大変わかりやすかったですし、
- 実践の場を映像で見ることができ、大変参考になった。
- 実際の活動のビデオが良かった。学習者が自発的に発言する様子から、授業の楽しさや成果を見ることができました。
- 西口先生のお話と、実践の動画が視聴できたこと。
- 「わたしを語る」という初級日本語の習得方法が非常に有効であると実感できたから。
- オンライン学習の様子の動画があったことが良かったです。オンライン学習について、どの程度効果があるものなのか疑問を持っていたので、使い方次第、というところはあるのかもしれないですが、オンラインでもできることがあるということが分かりました。
- 実際の学習活動の様子を見せていただけたことがとても良かったです。私自身に足りないものを知ることができました。目指すべき姿をイメージできたので、改善したい点も具体的に出てきました。西口先生のお話も大変わかりやすく、自己表現の日本語教育の素晴らしさについて改めて整理することができました。
- 西口先生の講義がとても参考になりました。
- 「基礎日本語教育」はどうあるべきかということを考えるための重要な観点が立体的にとらえられた。実践の動画も素晴らしく「日本語教師が果たすべき役割」、あり方について、多くの人にと共有したい内容だった。評価の観点が、実践を意味づけ確かなものとし、実践が評価の観点を精緻化しているという往還について改めて考えた。
- 自己表現中心の活動の意義と周知、そのための手段（動画による学習過程）
- 動画を交えながらのご発表で、教室のイメージがつきやすく、大変勉強させていただきました。
- 実践の様子や、評価の仕方など新しい視点をたくさん教えてもらえた。
- 理念、目標、活動の方法、方法選択の理由、実際の様子、成果と課題と波及効果がすべてきれいに繋がっており、納得しながらお話を聞くことができました（自分の実践の場では、主催者から活動の方法しか示されず非常にフラストレーションを感じておりました）。また、学習成果の評価方法も興味深かったです。今後まとめられる実践報告・実践研究を楽しみにしております。
- 発表説明により CINGA さんが考える基礎日本語教育の目指すものがよく理解できましたし、映像資料により現場の様子と一緒に体感することもできました。もちろん西口先生のお話を伺うチャンスもいただけてうれしかったです。
- 教師が教えるだけではなく、学習者間の会話がうまく引き出せていた。
- 西口先生のお話から理念・理論的に「人として生きていくための日本語教育」について考えた後、それを実際に実践している CINGA・ひたちなかの皆様のご発表だったので、多角的に「基礎日本語教育」について考えることができました。
- 生活者としての外国人の基礎日本語教育に自己表現活動が必要であることを、お話や実践を通して認識することができた。また、基礎学習の後についてモリソースや場について提案があり、大変参考になった。授業の様子や受講者同士のやりとりからみる成果の現れを動画

で見せていただけたのは本当に貴重な機会で、ありがたかったです。

- この事業の目的、展開方向がきちんと説明されていて分かりやすかった。
- 実践のビデオをみることができ、参加者が日本語で自分のことや思っていることが話せるようになっている様子がよくわかりました。
- 西口先生のお話は地域日本語についての方向性、整理がされていてわかりやすかったです。
- オンラインでの対話を引き出す方法が理解できたから。
- 実際の活動の様子がよくわかってとても参考になりました。なかなか他の教室の様子を見ることが出来ないため、とてもよい機会となりました。また、CINNGAがどのような理念で教室をコーディネートされているかもよくわかりました。西口先生のお話もあらためて自分たちの活動のデザインを考えるための指針になりました。
- 最近 N2 相当の学習者さんに作文添削をしているのですが、昨日ちょうど「同じテーマで自分のことを書いてそれを見本につけるのはどうだろう、とつけてみたら最後の締めを真似してくれていたの、これでいいのかなとちょっと思っていました。これもマスターテキストアプローチになるんじゃないかと思って、俄然興味がわきました。わたしはほすぐにダウンロードしました。ありがとうございます。
- 西口先生の自己表現の日本語教育の理論に基づき、基礎日本語教室を対面オンライン両方で実践されている先進的な事例で、成果をあげておられるので。
- 教育実践の目的・目標と、それに基づいた具体的な実践を説明やビデオで知ることができたため。
- 具体的な授業内容を動画で見せていただけたので、わかりやすかったし、勉強になりました。
- 学習者としての日本語学習の活動と、生活者としての日常がつながっていると感じました。そのようなものをイメージしながらも実践はむずかしく、参考になりました。
- 西口先生のご講義は、とても勉強になりました。また、実践された、CINNGA とみなとの講座も、素晴らしいと思いました。特に、動画での学習者さん同士の自然に始まった会話のようすに、感激いたしました。
- 表現活動中心の日本語教育について詳しく知ることができた。
- 最後まで参加できませんでしたが、実際の教室の動画など見ることができよかったです。
- 実際の活動の取り組みについて具体的に紹介していただいている点は大変興味深く、また参考になりました。
- オンラインの授業動画を拝見、生徒がいきいきと話しているのをみてすばらしいと感じました。
- 実際の活動の様子を動画を使いながら伝えてくださっていたのでとても分かりやすかった
- 自己表現の日本語教育～自分を表現できる、開放できる、聞いてもらえる喜びにつながる日本語の支援に希望が感じられました。
- 人らしく生活するためには用事を済ますための会話だけではなく、おしゃべりが必要だとのお話が心に残りました。二つのコースの実践紹介では受講してからの学習者のみなさんの笑顔が、基礎日本語学習の必要性をあらわしてしと強く思いました。
- 動画で参加者の皆さんが「おしゃべり」する様子を見て感動しました。私は日本国外で日本へ行く予定のない方を中心に日本語授業をしておりますので、このような様々なルーツの方が日本語で交流する場に居合わせる機会はほとんどありません。貴重な機会をありがとうございました。

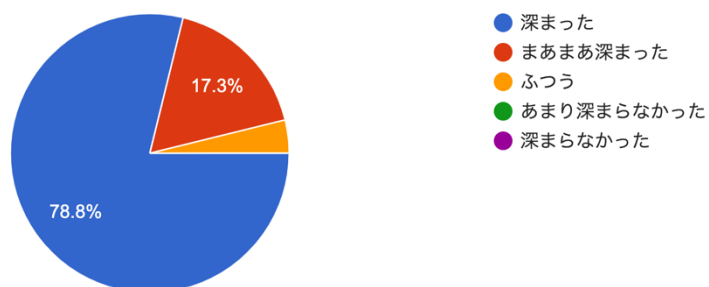
- 基礎日本語についての皆様の想いがよくわかりました。また、実際の教室の様子を拝見しその成果を実感できました。学習者同士が自信を持ってやりとりを行っていく過程に感銘しました。そこにいくまでのステップがカリキュラムとして効果的に組まれているのだなと思います。
- 実際のクラスを客観的に見ることができ、クラスを通して参加者の変化を知ることができた点です。
- 基調講演が国の動向や学術的な流れがわかってよかった
- 理念がはっきりと説明されていたので。文化庁の枠を超えたような実践だなと感じたので。また、西口先生のお話もこの実践の下支えであることがよくわかったので。
- 学習する会が、参加者の個々の状況に寄り添い、教師も含め人として繋がる「集まり」「心の交流の場」になっていることに感動した。
- 2つの日本語教室の基本理念や目指す方向性が示され、その実践を動画を交えて具体的に紹介していて納得できるものだった。こういうタイプの教室が日本に広がってほしい
- 専門家が「自己」表現活動を中心とした「基礎」日本語教育を行い、理解できたことと分かる言葉で対話できるようになった学習者＝つながる日本語の基礎を学んだ人を地域活動や地域日本語教室に繋ぐという考え方が実践的だと思った。
- 西口先生の基調講演では、自己表現活動中心の基礎日本語教育の意義について再認識することができました。それを受けて、貴団体の事業において、地域日本語教室での対話的な日本語活動につながるために、日本語教育の専門家が行う基礎日本語教育が具体的にどのように行われているのか視覚映像を用いながら紹介いただけてとても有意義でした。
- 自己表現活動については知っていましたが、それをどのような目的で基礎日本語教育として実施するのか参考になった。また、事業の評価として行われた参加者の周囲の人へのフォローアップインタビューの内容も興味深かった。
- 事例の報告がわかりやすかったです。
- コース実施報告がわかりやすかった点。西口先生の講演。最後に見せていただいた学習者から自然発生的に生まれた会話の様子のビデオには感動しました。
- 機械的な方法論になりがちな日本語教育に活を入れたと思います。
- 報告会自体はとても良かった。それをどう自分の地域に生かそうか考えたときに消化不良でした。
- 実際の取り組みが具体的に示されていたから
- 具体的な活動がよくわかった
- 「文型・文法の指導、実用的なコミュニケーション」という二項対立の中で何かが忘れられている。→ 何かについて話すこと、つまり、表現活動！がとても印象的だった。
- 核になる日本語基礎教育が必要なこと、その日本語教育の実際の姿が見ることができたから
- 学習者が主体となり積極的に発言している様子が印象的でした。
- 日本語学習の実際の様子を見ることができて良かった
- 実際の授業なども拝見でき、ブレイクアウトの進め方などとても勉強になりました。
- 対話型活動のやり方が参考になりました。
- 当市の日本語教室を運営するために勉強になった。

- 学習者の自発的な会話があった。

2.

報告会によって、「「生活者としての外国人」のた...日本語教育」についての理解は深まりましたか。

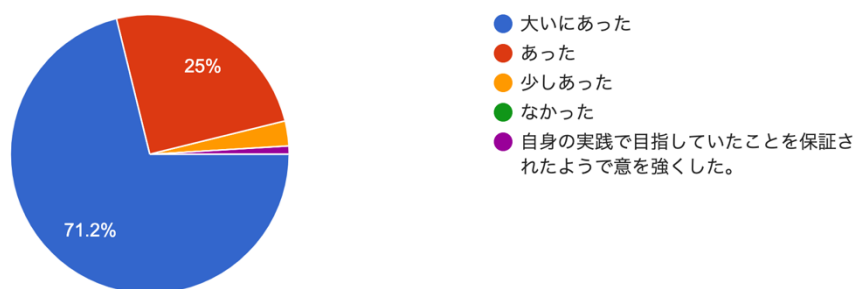
104 件の回答



3.

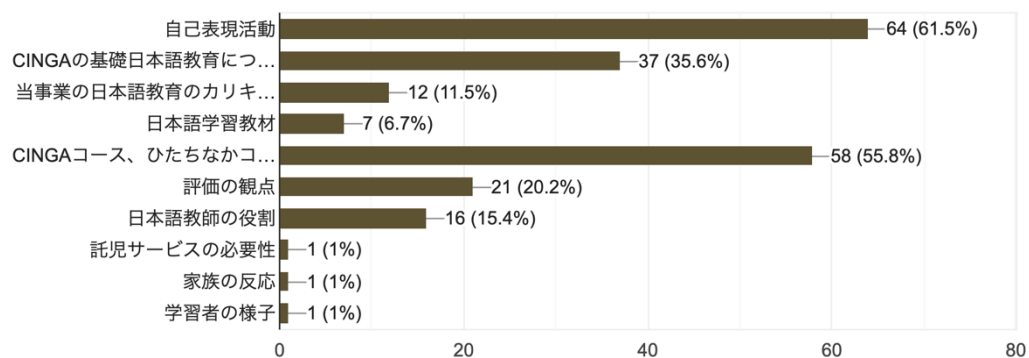
報告会第1部に参加されて、ご自身の実践の場を考えていく上で参考になった点がありましたか。

104 件の回答



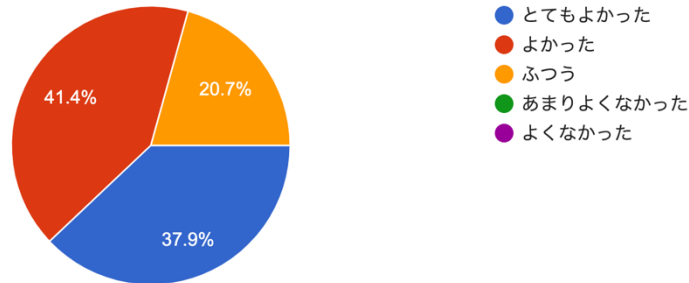
4. 特に印象に残ったことは何ですか。2つ選んでください。

104 件の回答



5【第2部に参加された方へ】 第2部は、いかがでしたか。

29 件の回答



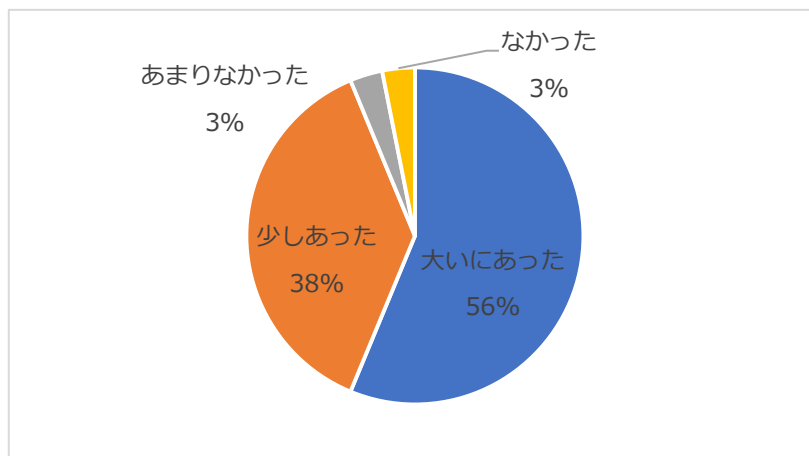
5-2. 5.の回答について、どのような点についてそう思われたか教えてください。

- 学習者同士が会話ができる（一問一答でなく）状況を作り出すことは、実際難しい活動だと実感していますが、会話テストを待つ控室の会話は本当に素晴らしい実践の成果の全てを表しているものと、「自己表現活動」についてもっと知りたい、取り入れてみたいと思いました。
- 地域や関わっている日本語教育の現場が全く違う方々とお話できたのがよかった。
- 他地域の実践者の方と話すことができて、同じことを聞いてもその理解の仕方はさまざまなと実感しました。
- 他の実践者の話が聞けたから。
- 今日学んだことについて再度話す機会があったことです。また、多くの方が日本語教育に携わっていることを知れて、とても勉強になりました。
- みなさんの意見を聞くことで、大変参考になりました。
- 色々な現場の実情を聞くことができた。
- 参加者の方の実践や課題について話を聞くことができた点
- 疑問に思ったことなどを、同じグループの人たちと相談することができた。また、実際に授業に参加した方に直接質問することができた。
- 同じグループの方の立場と背景が違い、よかった部分と話が盛り上がらなかった部分とありました。ブレイクアウトが長く感じてしまいました。
- 自身は日本語教育専門家ではないので、他県の日本語教育専門家からの意見を聞くことができて良かった。他県での取組みも知ることができた。特に、オンラインの活用についての考え方についてはとても参考になった。
- 自己紹介となぜ事業報告会に参加したかの話だけでほぼ終わってしまい意見の交換はあまりできませんでした。1人何分にしましょうなどと自分から提案できれば良かったです。全体で話しているだけでは聞けなかった他の地域のお話が聞けたことはとても良かったです。
- グループに分かれて他の地区の方のご意見を聞けたこと
- グループの方で感想を共有できてよかった。もっと話し合いたいという話題がどんどん出てきた。また次の報告会で議論が続けられることを期待。
- 全員が発言機会を持ち、疑問の解決を目指しているように感じました。
- グループに分かれての意見交換だったので、より具体的に各団体の実践や意見を聞くこと

ができました。

- BOR時間を把握してなかったので、前半のふりかえりというより自分たちの実践について少し紹介するくらいで終わってしまった。
- 議論のための問いを明確に示していただいてもよかった気がします。
- 他の実践地域の様子を聞くことができた点はありがたかったです。一方で話題が乱立してしまうので、一つの観点について意見交換するためのテーマがあるとより意味がある時間になったかもしれないと思いました。
- 「オンラインになったことの意義（周りの人を巻き込める）」「基礎教室にサポーター（ボランティア）さんをどう巻き込んでいけるか」「人材をどう育成していくか」という点について皆さんの意見をうかがえたことが、非常に参考になりました。
- つながる日本語についての情報を得ることができた。参加者の多様な立場や活動について少し知ることができた。スプレッドシートの記入は、若干負担だった。
- CINGA の基礎日本語教育の発表について、全国の様々な方と意見交換することができた。
- 各地の実践者が集まって意見交換できたところが良かったです。
- 地域や所属が異なる参加者の方たちとお互いが抱える課題について話すことができました。
- 意外と30分はあっという間で、自分の地域の活動等をシェアしたら終わってしまった感がありました。
- 自治体や交流協会の人たちの考えを知りたかったがメンバーの組み合わせの関係で叶わなかった。

6.【第2部に参加された方へ】 第2部に参加されて、ご自身の実践の場を考えていく上で参考になった点がありましたか。回答数 33



7. その他、お気づきの点があればご記入ください。

- 今回のようなオンラインコースや日本語教室での学びだけではなく、学習者の周囲の人の協力が日本語能力の向上に必要だということ、本当にそうだと思います。その辺りの視点も忘れずに、今後の活動に取り組んでいきたいです。
- このようなしっかり準備された報告会をなさること、大変だったと思いますが、発信することとても大切であると思います。学ばせていただきました。ありがとうございました。
- 表現活動中心の日本語教育が広がっていくといいなと思いました。
- 具体的な実践例とそれを裏付ける理論的なことの両面を知ることができ、大変参考になりました。対象によって活動の仕掛け方は異なるかもしれませんが、大切なのは話したいことが話せるようにサポートすることだと思います。

- わたにはほを使ってオンライン授業を行う講師は、どう養成するのか伺いたかった。西山さんや萬浪さんではなく、他の講師が行えるよう、研修など予定はあるのだろうか。
- 遠からず、入門期の学習者対応はオンライン対応に切り替わるだろうと確信。いいモデルをつくってください。
- 西口先生のお話はとても分かりやすく、「忘れ物」という言葉にはなるほどと思いました。
- CINGAの取組みもとても参考になるものが多かったです。地方では、通いたくても通えない人がたくさんいると感じており、そのために基礎日本語教育でもオンライン活用を検討すべきでは、でも本当にできるの？と思っていたところだったので、動画での学習の様子は大変参考になりました。また、評価の観点もとても分かりやすかったです。
- 最後の意見交換会では、その点について、他県の専門家の方々から色々な事例を教えていただくことができました。最初は、30分の意見交換は長いなあと思っていましたが、始めてみたらあっという間でした。
- とても素晴らしい内容でした。ありがとうございました。
- 学習者の基礎日本語教室の実践報告会だが、教える支援する側の実際の必要な準備のことも聞きたかった。
- 最後にふりかえりにも参加させていただき、とても有意義でした。
- 教室受講者一人一人に何らかのドラマがある。日本語教室が彼らの生活のほんの一部ではあるが、関わることはとても魅力があると思う。
- 対話型に地域日本語教育の実践をしながら、留学生教育にも関わっています。気づかないうちに自分の留学生対象の授業実践が自己表現活動になっていたことに気が付きました。
- 実践報告では、理念、目標、カリキュラム設計の過程、教室活動の内容と実際の様子、評価、ふり返し、とすべてお話しくださったことが、大変参考になりました。特に、「到達目標/方向目標」「経系/横系」でコース目標を考える点、今後自分の実践に生かしたいです。
- 両地域の特徴をそれぞれお話しくださったことで、「基礎日本語教育」が意味することの、地域による重なり/異なりが見えたことも大変参考になりました。今後自分の地域にどう生かしていくか、というヒントを沢山いただきました。
- 今年度、弊協会では、浜松市の文化庁事業として長年日本に在住し口頭能力はあるものの、読み書きができないという学習者に対して、対面で授業を行いました。オンラインでの読み書き指導は、HICEで授業を行っています。来年度は、まだ未定ですが、読み書きができないという学習者に対してのオンラインコースは、非常に興味があります。
- ほんのわずかししか参加することができませんでした。とても楽しみにしていたので残念です。もし、録画の公開、または限定公開があればありがたいです。とはいえ、ほんのわずかでしたが「こんなものを求めてた！」と思える、とてもいい会でした。どうもありがとうございました。
- ボランティアスタッフの立場ですが、このような機会に参加させて頂き、感謝申し上げます。また、機会をいただけましたら、拝聴したいと希望致します。
- 講座終了後、早速「わたしをつたえるにほんご」の教材を開いてみました。講座の中で紹介されていたユニットごとの「Can-do」はどこにあるのでしょうか。お教えいただけると幸いです。
- わかり易かったです。
- 人は生きるためにまず養ってくれる家や集団の中で使われる言葉を覚え、自力で生きる知恵を学び、やりたいことを実現するために言葉を使う。赤ん坊、子ども、学生、見習い、一人前、師匠、年寄り、旅行者では、段階が違うので、言葉の学び方と学ぶ理由は異なるが、「人とつながる」という軸は同じだと思います。なので、マジョリティを代表する公的機関が、日本に住む日本語ができない人に向けて実施すべき日本語教育は何かと考えたとき、それは「私たちと繋がってください」という「基礎」日本語教育なのかなとも思いました。
- 基礎日本語教育としての「対話型」教室の運営を日本語教師が行うべきか、あるいは緩やかでも日本語ボランティアと共に活動したほうがいいのか、わかりません。コミュニケーション力は「本物のコミュニケーション」を通して身につくと考えており、日本語教師が入ると「文法的に正しい」日本語を導入する方向性になりがちだと思っています。日本語教師の力量に委ねられると感じました。

- ひらがな、カタカナの習得の重要さ。
- 事前アンケートで、同じような立場の参加者の皆さんの意見を見ることができ、大変参考になりました。
- 地域の日本語教育活動には 2 通りのタイプがあり、一通りではないこと。一つは日本語を話せない人も言語能力に関わらず楽しく過ごせる居場所を作るという福祉的なグループ、もう一つは言語的な支援で自力で思うように暮らせるようにするための活動を目的とするグループであり、支援の方法が異なってくるので、どちらを目的にするのが明確にし、一まとめに話をしないでほしいこと。第 2 部でのグループには日本語教育など全く知らないという方も何人かいて、一般人と日本語指導者との違いはどこにあるのかと思ってしまいました。
- とても参考になりました。外国人の現場はいろいろで、役所が掲げる多文化共生は何処の話？と思うこともしばしばです。個人的な関わりが多いですが、このままでは、私自身長続きしないだろうし、地域の中での取り組みに深められたら……という段階です。
- 一昨日、CINGA の報告を聴いていて、会話形式のやり取りの方法はやりやすいし、効果は確実に高いと感じました。実際、私がやっている日本語勉強会では、若者たちの職場をお借りしたり、彼らのアパートや寮で対面授業をしたりしますが、しばしば、一緒に駅に行って切符を買ったり、スーパーに行って買い物したり、on the job で勉強すると、とても楽しかったりします。数人だったら十分できます。
- 私の近所に居られる外国からの奥さん方の日本語勉強には、早速応用したいと思いました勉強になりました。
- 西口先生のご指摘の「おしゃべり」が必要は痛切に感じています。私も他言語を学んでいるので、相手にわかってもらえた時は本当に嬉しい。机上からではなく、体を使って教えられないか、考えてみたいです。
- CINGA の報告会では、「対話的な日本語教室につなぐ」という趣旨に強く共感いたしました。